中地	平成26年度
一夫 肔	干队20平及

事務事業事後評価表

《基本情報》

事務事業の名称	中学校図書整備事業	担当課 [2] 評価者(担当者)	教育総務課 松野 和博
[1]	基本目標(章) ③人をはぐくむまちづくり	計価省(担ヨ省)	位野 和 円 重点
総合計画での位置付け	主要施策(節) (1)学校教育の充実		施策 [4]
	施策区分		□該当
[3]			
実施の根拠	□ 「「R X *)	支了足 . 並領	1 1112
(複数回答可)	▼ その他の計画【 市教育振興基本計画	1	⊿ □ 該当なし
[0]	□ ソフト事業 □ 義務的事業 □ 建設・整備		維持管理事業
事業区分	□ 内部管理事務 □ 計画等の策定事務		他们日本于水
会計区分 [7]	☑ 一般会計 ☐ 特別·企業会計【	】 款 10	項 3 目 1 細目 11
《事務事業の目的》	»		
事務事業の実施背景			
(どのような問題又は	 読書を通して、生徒の知的活動を増進させるとともに、読書	書に親しむ生徒を育て	ることが求められている。
ニーズがあるのか [8]			
対象(誰、何に対して)	生徒、図書		
[9]	工作、四日		
意図(どのような状態に	 学校図書の充実・整備を図り、読書の推進を図る。		
したいのか) 【10】	子校図書の元美・笠岬を図り、読書の推進を図る。 		
《事務事業の概要》			<i>5</i>
事業期間	□単年度のみ	□期間限定複数	
[11]		「 年度~	
	□国 □県 ☑市 □民間	□ その他【	<u>】</u> D他【 】
美施力法 [13]	☑ 直営 □ 全部委託 □ 一部委託 □ 補則	助金等交付 □ その 事務事業を構	
			成する細事業 [15] 室補助員配置事業
	 ・各学校に図書室補助員を配置して、図書の充実に努め		全
事務事業の具体的内容	るとともに、学習意欲に満ちた児童を育成する。	$\Rightarrow \frac{2}{3}$	
7447	・貸出し返却、図書の整理、読み聞かせを行う。	<u>(4)</u>	
[14]		<u>4</u>)	
		9	

《事務事業実施に係るコスト》

<i>、予切予未大心に水も一ハビル</i>										
					H23年度決算	H24年度決算	H25年度決算	H26年度予算	全体計画	
	事	国庫支出金		%						
	業	県支出金		%						
	費	起債		%						
+ л.	千円)	受益者負担 その他 一般財源								
投 入										
⊐					13,764	8,045	8,454	8,231		
スト		[16] 小 計	-		13,764	8,045	8,454	8,231	0	
1.		[再掲]臨時·非常勤職員人作	‡費(千円)	7,994	8,045	8,454	8,231		
	職人	職員人工数			0.32	0.19	0.10	0.10		
	員件の費	員件	職員の年間平均給与額	額(日	斤円)	5,685	5,610	5,610	5,610	
			の費	【17】 小 計	-		1,819	1,066	561	561
			15,583	9,111	9,015	8,792				

≪事務事業の手段と活動指標≫[18]

事	務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H23実績	H24実績	H25実績	H26計画
1	学校図書室補助員配置 事業	図書整備のため図書室補助員 を配置し、貸出しや整理を行う。	補助員配置人数	人	6	6	6	6
2								
3								
4								
⑤								

≪事務事業の成果≫[19]

I		成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H23目標	H24目標	H25目標	H26目標
ı	成未指標(息凶の数値化)		日 昇力 広又は武明		H23実績	H24実績	H25実績	/
I	1	 生徒1人当たり貸出冊数	貸出し延べ冊数÷全生徒数	∄	20.0	20.0	20.0	20.0
	土に「人当たり貝山冊数		貝山し姓・川女・王工作女		13.9	12.1	12.5	/
	2							
ı	2							/

《事務事業の評価》

<u> </u>	《事務事業の評価》								
	評価項目	評価の視点	評価	評価の説明					
妥当	m _ 1 \ (/) _ 1 \	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。	□ 問題あり☑ 問題なし						
性		税金を使って達成する目的か。また、役割が 薄れていないか。	□ 問題あり ☑ 問題なし	図書整理ができず、読書推進ができなくなる。					
〈判定〉 A		事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる 等の影響があるか。	✓ 影響あり✓ 影響なし						
有効	目標の達成度 【23】	成果指標の目標値は達成できたか。	」 達成✓ 未達成						
性	成果向上の余地 【24】	成果がもっと上がる余地はないか。	✓ 余地あり☆ 余地なし	図書の選定や読書の啓発次第では成 果が上がる余地がある。					
〈判定〉 C	上位施策への貢献度 【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。	✓ +分✓ ホ+分						
**	コスト低減の余地 【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	□ 余地あり ☑ 余地なし						
	民間の活用の余地 【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ 以上検討の余地はないか。	□ 余地あり ☑ 余地なし						
.—	執行方法改善の余地 【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	□ 余地あり ☑ 余地なし						
〈判定〉 A	事業統合の余地 【29】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	□ 余地あり ☑ 余地なし						
公平性	受益者負担の余地 【30】	受益者負担について、これ以上検討の余地は ないか。また、対象、負担額等は適切か。	□ 余地あり ☑ 余地なし						

《今後の方向性と改善》

	今後の方向性 [31]	□ 拡充して継続 □ 現状のまま継続 □ 縮小を検討 □ 休止・廃止を検討 □ 細事業の効率化 □ 改善・見直し □ 民間活用 □ 他事業と統合 □ 廃止 〕
	判断理由及び見直し・改 善の具体的内容	読書に親しむ生徒を育てるためには、引き続き、図書の充実や補助員の配置が必要である。
昨	年からの見直し・改善状況 【32】	特になし

■評価責任者記入欄■

読書活動は、子どもが言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなも 評価責任者(課長)の所見 のにし、人生をより深く生きる力を身につけていくうえでも欠くことのできないものと 考えるで、さらなる充実に努める必要がある。

林 一男